

勢小だより

平成28年6月27日

勢和小学校



梅雨空の合間に顔を見せる太陽は、キラキラと、もうすっかり真夏を感じさせます。

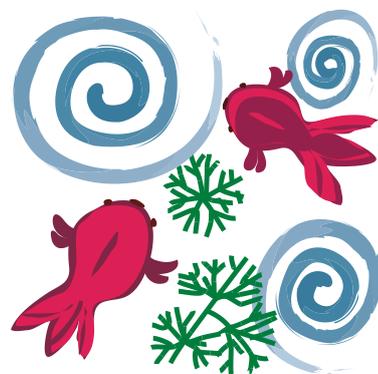
学校では、6月20日から水泳を始めました。日によっては、少し水が冷たく感じる日もあります。しっかり準備体操をして、毎日のようにプールから歓声が上がっています。

(子どもたちの健康状態には、特に気を付けて水泳指導をしています。水泳カードの捺印・記入漏れがないようお家でも気を付けてください。)



7月の予定

- 1日(金) 地区懇談会 19:30~21:00
- 4日(月) 下校指導
- 6日(水) 通学団会 (5限目)
- 8日(金) 学校評議員会 19:30~
- 11日(月) 水曜校時、大掃除
- 12日(火) 少年の主張発表会 19:00~ (勢和公民館)
- 13日(水) 個別懇談会
- 14日(木) 個別懇談会
- 15日(金) 個別懇談会、安全点検
- 18日(月) 海の日
- 19日(火) 給食最終日
- 20日(水) 3限授業、全校集会
- 21日(木) 夏季休業開始、夏季学習会
- 22日(金) 夏季学習会
- 29日(金) ノーメディアデー



校長のつぶやき

カブトエビ&ホウネンエビの話…



▽○■*※□△
◆△□・・・?

4月の着任のあいさつの時に「校長先生はね～虫が好きなんですよ・・・」と網を振りながら自己紹介をしたせいか、「この虫なんですか？」と、運動場側の窓から校長室をのぞいてくれる子が何人もいます。

難しいのが、幼虫をとってきて名前を聞かれる場合で、その場合はたいてい「う～む、これはたぶんハナムグリの仲間の幼虫だと思うよ」などと応えています。実際、成虫でもパッと見ただけではわかりにくいものもいて、例えば、飛んでいる白いチョウは全部モンシロチョウかという、たまにスジグロシロチョウの場合もあるのです。もっとも、ほとんどの子どもたちの場合は図鑑で「これに似てる」で満足なのですが、虫好きの私としては「○○の仲間かな…？」ってことになるのです。

さて、本校ではSOCS（セイワ オリジナル コミュニティ スクール）の活動の一つとして、米作りをしています。今年は、子どもたちに、お米の命のサイクルを体感してもらおうと、種もみをまくことから始め、収穫までの体験活動を始めました。その時、ご協力いただいている小島さんから「田んぼの生き物も面白いんですよ」というお話をいただきました。今回、そのたことをきっかけに、先日、田んぼからカブトエビ、ホウネンエビをとってきて図書室前の廊下で展示をしました。ところで、この生き物のことをご存知でしょうか？カブトガニではなくカブトエビなんです、両方とも生きています化石と言われます。（恐竜全盛期より前の、2億年位前から地球上にいるものです。）

カブトエビは、田の「草取り虫」とも呼ばれ、水田の底の泥土をかき回すので雑草が生えるのを防いでくれます。田植後しばらくしても濁っている田んぼにたいていいます。

日本には3種類のカブトエビがいますが、いずれも江戸時代にはおらず、多気町のカブトエビは、アメリカカブトエビだと思われ、カブトエビもホウネンエビももともとは砂漠の生き物。雨季の水溜りが干からびてしまわないうちに、さっと卵からかえり、大きくなって産卵してその一生を終えます。人類よりはるか昔から命をつないできた生き物が、今日、日本の水田に適応していることがすごいですね。



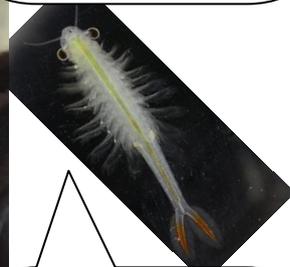
おおっ！
この人ばかりは何だ！



はい！ぼく「カブトエビ」です。上手に触ってくれる子もいました。



学校司書の北浦先生が、さっそくカブトエビの本を並べてくれました。実物見て、本も見て調べた子はすごいです。



次の日は、ぼく「ホウネンエビ」もみんなに見てもらいました。